

## 第3回二宮町町民活動推進委員会 議事録

日 時：令和元年10月24日（木） 18：30～20：00

場 所：二宮町役場 第1会議室

出席者：手塚委員長・大河原副委員長・岡本委員・齋藤委員・高橋委員・伊達委員  
豊田委員・山岡委員・志賀委員

事務局：地域政策課3名 まちづくり推進員1名

傍聴者：0名

周知事項：本議事録は、会議時の発言内容となります。会議後、諸事情により、決定事項に変更が生じた内容があります。当該部分には「※」を付記し、本議事録の最後に変更後の内容を記載しております。

### 会議概要

#### 1. 開会

#### 2. あいさつ

全国社会福祉協議会の被災地支援・災害ボランティア情報のサイトでは、毎日のように活動が更新されているので、被災地支援に興味のある方はこのサイトを調べていただければと思う。これから先何が起こるかかわからないが、最低限の備えをしながら日々を暮らしていきたい。本日は皆さん自身の経験によるご意見をいただきたい。

#### 3. 議題

##### (1) 町民活動推進補助金交付要綱の改正について（報告）

町民活動推進補助金交付要綱の改正について、事務局より説明

①第3条第1項第6号「町と連携して、行政活動を補完・代行・補助する団体であること。」の削除

（改正理由：幅広い町民参加と町民活動を推進しており、現状に沿わない文言であるため）

②町民活動団体から町へ提出する様式（申請書等）の押印欄削除

（改正理由：直接窓口で申請書を受け取るため本人確認ができることや、申請者の負担軽減につながるため。）

③改正要綱は令和元年12月1日より施行

（改正案に対しては前回会議で協議した内容であるため意見なし）

##### (2) 令和2年度町民活動推進補助金募集のお知らせについて

令和2年度町民活動推進補助金募集のお知らせについて、事務局より説明

二宮町町民活動推進補助金募集のお知らせの内容について(概要)

① 議題1の要綱改正に伴う文言削除

② （※1）ステップアップ支援の募集期間を1月6日(月)から1月31日(金)までとする。

③ プレゼンテーションの持ち時間を10分とする。

（委員長）12月の議会はいつからか。

（事務局）まだ確定ではないが、例年より早まる予定である。次回会議の日程を考慮すると募集

期間を短縮しなければならない。

- (委員長) (※1) ステップアップ支援の募集期間が1月6日(月)からの31日(金)までという変更を皆さんに諮りたいが、いかがか。
- (委員) 今までの募集と比べると募集期間が短くなる。期日間近に申請書が提出されることはあるのか。
- (事務局) ほとんどの団体が募集期間最終日に申請書を提出する。期間の長さよりも期日を注視していると考えている。
- (委員長) 12月1日に町民活動推進補助金交付要綱が改正されるので、例えば12月20日頃から事前呼び掛けて、お正月に申請書を準備してもらうような周知方法も考えられる。
- (事務局) 募集があることは募集開始よりも早く周知するので準備をしてもらうことは可能である。
- (委員長) 相談等も事務局でできるのか。
- (事務局) すでに相談を受けている状況で常時相談可能である。
- (委員) 募集期間も含めていつから周知するのか。
- (事務局) (※2) 12月25日発行の広報1月号とホームページへの掲載で周知をする。
- (委員長) 特に異議がなければ1月31日までということではいかがか。  
(意見なし)

### (3) 令和2年度町民活動フェスについて(協議)

今後の町民活動フェスの方向性について、事務局より説明

- ① 令和元年5月19日に開催した町民活動フェスについて
- ② 今後開催するにあたってのメリット、デメリットについて
- ③ 今後の題材案について
- ④ 今後の町民活動フェスについて

- (事務局) 令和2年度にどのような内容で開催することが、参加者にとって有意義なものになるかを聞きたい。
- (委員長) 本日の会議で開催内容の決定はできないと思うが、それでもよろしいか。
- (事務局) 3月の会議ではステップアップ支援の審査があるので、2月の会議で町民活動フェスの最終確認となる。本日は、そこまでにどのように進めていくかを話し合えば良い。
- (委員長) 来年度の町民活動フェスを開催する時期はいつか。
- (事務局) 令和元年度補助金交付団体の活動報告もあるので、例年通り5月開催を考えている。
- (委員) (今年度)初めて町民活動フェスを開催したが参加要件はあったのか。
- (事務局) 特に要件はない。事務局から声を掛けたのは、サポートセンターに登録している町民活動団体と過去5年間の町民活動推進補助金交付団体、計約45団体である。団体に加入されてない皆さんにも広報紙やホームページで周知をした。
- (委員) 例えば今年度補助金を交付している団体の「子ども学習支援こむ」や「百合が丘囲碁クラブ」、それから「東大跡パラスポーツの会」などはそれぞれジャンルが違う。どのような団体に焦点を合わせるかにより、開催内容も変わってくる。今年参加した団体とサポートセンターに登録している団体はどのような団体なのか。
- (委員長) 参加した団体は、趣味を共有している団体や運動を活動としている団体、技術的に何かを提供している団体だと思う。
- (事務局) サポートセンター登録団体については広く活動している団体だけではなく、子育てサークルや活動を団体内で共有する団体が多い。
- (委員) 呼びかける団体の中に趣味を共有しているサークルや団体は入っているのか。
- (事務局) サポートセンターに登録している団体で、地区社協や自治会など特定目的のために活動している団体は除いて呼びかけをした。
- (委員) どのような団体と団体をつなげたいのかを具体的に決定できれば、呼びかける団体はある程度限ることができる。たくさんの団体が集まることも良いが、開催内容の方向

性をもう少し縛った方が良い。

- (委員) そもそも目的は、いろいろな団体を集めることによる団体活動の活性化を図ることが目的である。災害関係などジャンルを絞ってしまうと目的が違う。
- (事務局) ジャンルが違う団体同士と一緒に手を合わせることによって、こういうことができるのでは、など団体同士をつなげることが前回の狙いであった。
- (委員) 参加者の中には自分の想定と内容が違ったと言っていた方もいたので、目的をわかりやすく周知していくことが必要なのかもしれない。
- (委員長) 避難者が生じたときには行政や社会福祉協議会が動くと思うが、避難者に寄り添う人がいないので、例えば日頃から子育て支援の活動をしている人が子連れの避難者と会話をする役割を担うなど、日々の活動の中で自分たちにできることがある可能性がある。災害時に皆さんの団体は何ができますかということを考えてもらうということを現在内閣府では提示している。通訳ができる、子どもの面倒を見ることができる、洗濯ができるなどのレベルの話である。例えばパラスポーツの団体がスポーツを楽しむということで復興支援に携わることがいろいろなところで起こっている。そのようなことを題材にするイベントを一番イメージしている。災害ボランティア団体ではないから参加しないという話ではないと思う。逗子市では逗子再発見というテーマで誰でも参加できるイベントを開催していて、そのように二宮町の魅力を知っている人全員来てくださいと声をかけても良いと思う。
- (委員) 町民活動フェスは他団体との交流が目的である。団体間の交流ということになると町民に対してどのように知らせるのか。町民が様々な団体の活動をどのくらい知っているのか、またそのような活動をどのように知らせていくのか見えてこない。
- (委員長) 町民を巻き込むイメージであるが、周知の仕方などについては今後検討していくことになる。
- (委員) 町民活動フェスは、団体同士のつながりを強め広げていく狙いと、興味はあるが町民活動をしていない人を巻き込む狙いがある。現場視察で話を聞くと参加者が固定化している、入ってくる人もいるが辞めていく人もいるので、参加者とボランティアをどのように集めるのかなどの課題を抱えている団体が多いと感じた。そういう課題について話し合いをしても良いと思う。
- (委員) 団体が他団体と一緒に新しいことを始めるのは難しいが、他団体の活動が参考になることはある。例年活動報告会を開催しているが、補助金交付団体しか参加しないのでそのようなところから改善する取り組みをしても良いと思う。町民活動に参加している人にも参加していない人にも広く周知をして、町民活動ショーケースのような形式で開催しても良いのではないかと思う。
- (委員) 前回の町民活動フェスでは団体に所属していない参加者はどれくらいか。
- (事務局) 2,3名ほどである。
- (委員) 活動報告会や町民活動フェスに参加してもらい、補助金を使って活動をしたいという人がより多く出てくることを期待している。団体に限らず活動をしたい人、興味がある人が参加するような方向性が良いのではないか。
- (委員) テーマが重要である。組織の運営において指導者の高齢化が進み、いくら呼びかけてもなかなか新しい人が集まらない。そのようなことを課題として少しでも改善できる方法を模索するテーマ設定が考えられる。それとは別にジャンル別のテーマも考えられ、災害時に活動できる、高齢者に対応できるなど参加団体が限られてしまうが、それは仕方がない。テーマを絞って開催することで何か得るものがあるのではないか。
- (委員) 今回開催の町民活動フェスでは参加希望者が少なく、事務局から依頼をして参加していただいている現状がある。そもそも開催が初めてでそのような状況になると思ってはいたが、今後2,3回目で参加者は増えないと思う。各団体とも忙しく、人手不足という課題があるので、団体間の交流は良いが活発にしたいということであれば、新たな人材を発掘することが目的になるのではないか。藤沢市のように活発に人が集まってサポートセンターが満席になり、現状のサポートセンターではとても狭いというような

声が出るようになれば良いと思う。先進都市でこのようなイベントを開催して面白かったという事例があれば教えてほしい。

(委員長) 戸塚では「お結び広場」という会場で各団体の特技や持ちネタを披露する。2日間かけて手品や囲碁などのブースや舞台を作り約100団体が参加する。ラディアンではそういった祭りのようなイベントはあるか。

(委員) 文化祭があり、囲碁、絵画、写真などの団体が参加している。

(委員長) 生涯学習の発表する場になっているが、町民活動団体の発表する場がないように思える。以前、地域活動の見本市というイベントを学校行事として学校の体育館で開催した。ブースを区切って小さなミニワークを団体ごとに行い、学生が体験するという内容であるが、それを市民向けに開催したら50, 60代の男女問わず参加をされたので感触が良かった。このようなイベントを座間や綾瀬で開催しているが人を集めるのが大変である。興味のないボランティア活動にわざわざスケジュールを空ける人があるのかという課題があり、ご褒美のようなものとして、子どものスタンプラリーを実施して色鉛筆やご当地グッズをプレゼントした。

何かやりたいと思っているけど面倒だとかチャンスがないと思っている人がいるとすれば、小規模でも継続することが大切で、多くの町民に来てほしいという意見が出ているのでこのような方向性が良いのではないか。

(委員) 町民センターでパティシエや消防、警察などいろいろな職業の方が参加する子ども向けの職業体験が今年も開催されるが、毎年とても好評である。目的が「活性化」であれば、町民活動に参加していない人を呼んだ方が良いので、別のイベントに合わせて開催するのも面白い。目的はぶれないようにして、方法を多角的に考えて実施し、1, 2回の失敗は反省して次に生かせば良い。

(委員長) 目的として「活性化」は良いが、団体間の交流にするのか、町民活動に参加していない人も巻き込む形にするのかというところが論点になる。皆さんの意見を聞くと、巻き込む形が良いという意見が多いが、方法はいろいろある。

(委員) 人を集めることは難しく、開催すれば集まるものではないので、テーマを1つ決めた方が良い。例えば災害が一番良い題材だと思う。災害が起こったら、私たちの団体はこういうことができると考えたりしてもらうことが活性化に繋がるのではないか。その場合に実行委員会を作り、このテーマならばこのようなことができるのではないかと1, 2回検討することも必要だと思う。

(委員) 町民活動フェスと活動報告会を同日に開催しているが、活動報告会が面白くないのではないか。一般の方は退屈だと感じるかもしれない。活動報告会を公開する必要があるのかを含め、やり方を検討していく必要がある。

(委員長) 巻き込み型に多く賛同をいただいたが、同日開催するのであれば巻き込み型にするのは少し厳しいように感じる。

(委員) 現状の報告会ではどういう団体がどう補助金を使っているのかわかり、とても良く思う。

(委員長) 報告会を可視化できるように、ブースで区切るなどして質問がある方はそこにいくような別のやり方ができると良い。

(委員) 町民活動の考え方が整理できていない。今後の題材案に災害関係とあるが、文化団体と災害関係の団体が必ずしも同じレベルではない気がする。例えば災害関係の団体は公益性が高いが、生涯学習団体は公益性が限られてくるので、町民活動がどういう方向に向いているのかははっきりしない。二宮町を明るく楽しくするような町民活動は、災害関係とは違うものである気がする。

(委員) 皆さんの中で助け合うような共助の意識が出てくれば良いのではないか。

(委員長) 生涯学習団体と町民活動団体を区別しているところと区別していないところと行政の施策によって対応が違う。二宮町はラディアンを中心とした生涯学習団体と町民活動団体を区別している。趣味の活動をしていても健康寿命を延ばすために活動をしている人は多くいるので、最終的には町民活動団体と同じ趣旨になるようなイメージだと

思っている。自分たちの活動を発表する場を作ってあげたい。今の時点で、町民活動団体、生涯学習団体、企業に関する団体の大きな区分けで三つあり、全て一緒のくくりが良いと思っている。人が集まるところに町民活動団体を参加させたほうが効果は高い。テーマを決めて開催するのか、発表したい人を集める形式で開催するのか決まっていないが、ブースを区切り質問のある方がそこで意見交換をするようなイメージである。

(委員) 二宮町には文化団体を支援する組織と町民活動団体を支援する組織は別なのか。

(委員長) 二宮町の文化祭はどこが主体なのか。

(事務局) 以前、文化団体連盟が存在し補助金も出していたが、存続できなくなり解散した。文化祭は行政が実行委員会を引導して進めている。

(委員) 例えば災害関係の団体と囲碁団体は必ずしも同じではないと思うが、それをどうやって整理するのか。全部を災害ボランティアにまとめなくても良いと思う。

(委員長) 囲碁団体が避難所で囲碁の相手をするのも災害復興のひとつである。

(委員) テーマを決めるのであれば災害は妥当であり、今年台風が大きな被害をもたらしたため、一般町民も参加したくなるのではないか。

(委員長) 町民活動フェスについて、今まで議論した内容をまとめる。活性化という目的は見据えたうえで、町民へのアピールと巻き込みを検討していく。結果的につながりが生まれる可能性はあるので、それは副次的な効果として見込む。関係者や一般町民の参加を増やしていくことを中心に考える。テーマについては決めた方が町民にわかりやすく参加者が集まる可能性はあるが、無理に決めなくても良いと考えている。テーマを決めるのであれば皆さんに意見を聞かなければならない。活動報告会との同日開催については、整理して違うやり方で良いと思っているので検討していく。報告会を5月に開催することは妥当な日程である。ここまでしか決まっていないがよろしいか。

(委員) この後事務局で案を練らなければならないが、町民活動フェスは5月に合わせる必要はないという理解でよろしいか。別日に開催するのであれば、人集めは別のイベントに頼るイメージである。町の他イベントと抱き合わせて開催するアイデアもある。

(委員) 人集めは必要だが、例えばテーマを災害に決めて、私たちの団体はこういうことができるということを発表する形式であれば人集めは必要ない。

(委員長) いろいろな選択肢が意見として出てきたので、従来から少しずつ変えながら柔軟に対応していけば良いと思う。

(事務局) いろいろな意見が出たが、従来のプレゼンテーションによる報告会の形式を廃止し、例えば大きい広場でボードによる報告会にする案などもある。前回の報告会では委員からの質疑応答の時間はなかった。そのように質疑応答が不要であれば、大きい広場でボードを置いて、団体に立ってもらい参加者と意見交換をしてもらう。他の団体も呼び、団体ごとに活動を各ブースで発表してもらう。実際、時間がありそうで時間がないので、来年の町民活動推進委員会の一つの議題として再来年に開催するのはいかがか。

(委員長) 継続して開催を続けないと開催しなくなる。

(委員) 従来の開催内容と大きく変えるのは時間がかかる。

(委員) 活動報告会をどのような形式でも開催しなければならないが、従来と同じやり方は良くない気がする。

(委員長) 活動報告会を聞く聞かないは自由だが、得るものが1つ、2つある内容で開催できれば良いと思う。

(委員) 活動報告会の形式を考えれば良いのではないか。

(委員長) 町として活動報告会をボードによる発表にすることは可能か。

(事務局) 報告書等の提出は要綱で定められているが、活動報告会の発表方法は定められていないので可能である。

(委員) 活動報告会の発表時間が5分では短い。

(事務局) 前回はワークショップと同日開催したため5分とした。発表時間を多くするなど工夫を

していきたい。

(委員長) 次回会議開催予定の2月で間に合うか。

(事務局) こちらが案を作成して方向性を委員長と調整をし、2月に資料を確認するのであれば可能だと思う。

(委員長) 案の作成及び事務局との調整を年内に行う。1月に各委員にその案を送付し、意見を反映させた資料を2月の委員会において皆さんに確認してもらう。そのようなスケジュールでよろしいか。

⇒(反対意見なし)

#### (4) 町民活動補助金団体现場確認報告

##### 【百合が丘囲碁クラブ 8月9日(金)】

(委員) 小学生を対象としたイベントが他にもあり、参加者が1名という状況だったので、子ども同士の対局が見られず残念だった。囲碁の考える力などが学校教育にも役立っていることを実感し、他の子どもたちが多く参加できるように広まれば良いという印象である。

##### 【子ども学習支援「こむ」 9月7日(土)】

(委員) 国が他国の人たちの受入れをしているので、本来なら行政が外国から来ている子どもの面倒を見るべきだと思った。それをボランティアに頼っているのが、間違っているという印象を持った。活動自体は素晴らしいものである。

(委員) 代表の話聞いて、この活動は本当に必要な活動であると実感した。このようなサポートを必要とする子どもたち、家庭がある。いろいろな事情を抱えた子どもたちがいるということを理解して、学習支援だけではなく近所にそのような家族の人がいたら声を掛けるなど、心の優しさや少しの手伝いが町民の中に広がっていけば良いと感じた。

##### 【ラビッツクラブ湘南二宮 9月7日(土)】

(委員) 子どもや保護者、指導者も元気に活動していて良いなと思った。経済的に大変かもしれないが、組織が大きくなっていけば良い。小学校で放課後子ども教室を開催しているが、そこの指導者としても協力してくれている。

##### 【東大跡パラスポーツの会 10月2日(水)】

(委員) 各参加者は競技に集中しているため黙々とやっていた。今年度の補助金を必要とする理由として、ボランティアの育成を挙げていたが上手くいっていないことが少し気になった。苦勞されているとは思いますが、なかなか新規の参加者と協力者が増えず、逆に減っていると言っていたので少しその課題が気になる。

#### (5) その他

##### (1) 日程調整

(※3) 次回会議日程(補助金一次審査) 令和2年2月17日(月)18時30分から  
公開プレゼンテーション(補助金二次審査) 令和2年3月14日(土)午後開催(時間未定)

#### 4. 閉会

## 会議後の変更内容

(※1 かつこ内は変更前)

ステップアップ支援の募集期間 令和2年2月10日（1月6日）～令和2年 2月28日（1月31日）

(※2 かつこ内は変更前)

令和2年1月24日発行の広報2月号に掲載（令和元年12月25日発行の広報1月号）

(※3)

次回会議開催日時

令和2年2月17日(月)開催予定の会議は不開催となりました。

(次回) 令和2年3月14日(土)12時30分～（補助金一次審査及び二次審査を同日に行います。）